



坤櫓、本丸西側土堀復元イメージ

福井城坤櫓の復元を応援しよう！

福井県では、福井城址の歴史的価値や魅力をさらに高めるため、坤櫓（ひつじさるやぐら）や本丸西側土堀の復元設計を進めており、早期復元を目指しています。

いただいた募金は、福井城の坤櫓等の復元整備の財源として活用します。多くのみなさまのご支援をよろしくお願いします。

募金をしてくださった方々にこのような記念品をご用意しています！（一部をご紹介します）



福井城オリジナル
御城印帳



募金記念御城印



福井城下重ね図（表面：絵図、裏面：現在の地図）クリアファイル



福井城オリジナル
タンブラー

募金をするには

1 持参される場合

福井城櫓等復元募金推進委員会事務局（福井県庁4階 交通まちづくり課内）または募金ブース出展時にご持参ください。募金額に応じて記念品を進呈します。

2 口座振込される場合

事前に入金予定日と募金額をご連絡いただいた上、下記口座に振込願います。振込手数料はご負担ください。記念品は一部を除き、郵送させていただきます。

振込先：福井銀行 県庁支店 普通 6022209 名義：フクヰ ヨウヤク ラウワクゲン ボ キンシツインカイ



詳しくはこちら
（福井県HP）

福井城櫓等の復元について

福井城とは

福井城は、徳川家康の次男で、福井藩初代藩主の結城秀康によって、慶長11年(1606)頃に築城されました。徳川家康が自ら城の縄張を行ったとも伝えられている四重五重の水堀に囲まれた平城で、当時は高さ約30m、4層5階の壮大な天守がそびえていました。

天守は、寛文9年(1669)の大火で多くの櫓や城門とともに焼失し、以降再建されなかったものの、櫓や城門はその後再建され、明治初期まで福井藩の象徴となっていました。

明治以降、櫓や城門は取り壊され、四重五重の水堀も徐々に埋められましたが、本丸の石垣と内堀は400年以上たった今も現存しています。



「福居御城下絵図」
(松平文庫 福井県文書館保管)

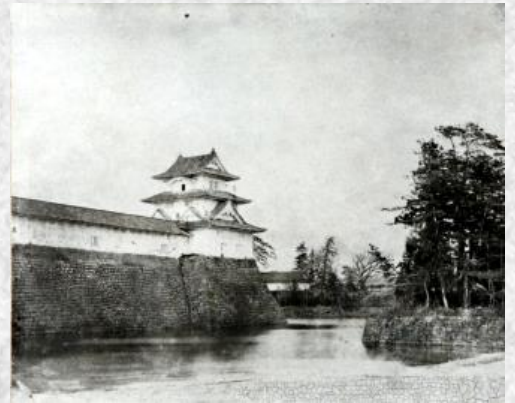
ひつじさるやぐら たつみやぐら

坤櫓と巽櫓

本丸の南西角にあった坤櫓と南東角にあった巽櫓は、幕府役人や藩主による城下の物見のほか、坤櫓は書物や証文の保管場所、巽櫓は台所道具や塩辛・昆布などの食料の保管場所として使用されていた記録が残っています。

寛文の大火による焼失後に再建された坤櫓と巽櫓は、3重5階建てで代用天守としての役割を担っていたと考えられています。

両櫓とも明治初期に他の城門等と同様に取り壊されました。



「旧福井城本丸巽三重櫓」
(福井市立郷土歴史博物館保管)

復元の動き

県では、福井城址の歴史的価値や魅力を高めるため、これまで、平成20年に「御廊下橋」、平成30年に「山里口御門」の復元整備を行いました。

現在では、坤櫓や本丸西側土堀の復元に取り組んでおり、令和5年度から復元工事に向けた調査や設計を進めています。

坤櫓は、当時の規模を再現し、高さ約16mで復元する計画です。復元後は福井駅から見えるようになります。



坤櫓、本丸西側土堀復元イメージ

その他の寄付募集について

ふるさと納税でも寄付を受け付けています。

寄付の使い道に「福井城の櫓の復元を応援!」を指定してご寄付ください。

※返礼品の進呈は福井県外在住の方に限ります。



お申込みはこちら
(ふるさとチョイス)

お問い合わせ先

福井城櫓等復元募金推進委員会事務局(福井県未来創造部 新幹線・交通まちづくり局 交通まちづくり課内)

〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17-1 4階

TEL:0776-20-0724

e-mail:kotsuka@pref.fukui.lg.jp